


私が見た北秋田

Kitaakita from My Eyes NO.66



**ショー
コリガン**

三澤先生おめでとうございます

令和4年度がスタートしました。皆さまにとって、良い1年間になりますようお願いしています。


今年1月に、前北秋田市教育委員会教育長の三澤仁先生の瑞宝双光章受章祝賀会に出席させていただきました。飲食禁止等のコロナ対策をしながら行いましたが、一緒に受章を祝うことができ光栄に思います。

私が、なぜ日本での英語教育に関わりたと思ったかということ、日本とアメリカの架け橋になりたかったからです。日本の文化に興味があり、日本の子どもたちが自分の文化を英語で伝えられるようになればいいなという思いで来日しました。

この思いを伝えたら、当時の三澤教育長のあふれる

笑顔と力強い握手が今でも記憶に残っています。三澤先生のおかげで、北秋田市のために長く働くことができ、私はとても感謝しています。

今回の写真は、当時の市ALT辞令交付式で撮ったものです。三澤先生は、今もこの当時の写真のように若々しい姿のままで変わりなく、大変うれいす。私は残念ながら、この写真に写っているほうが、今よりずいぶん若く見えますね。



市長ダイアリー

◇2月16日～3月15日



▲津谷市長の定例記者会見



▲あいさつを述べる津谷市長



▲合川小のいぶりがっこ贈呈

16日(水)▽秋田県森と水の協会第3回理事会(イヤタカ)

18日(金)▽環境審議会答申書提出(本庁舎)▽前田地区要望書提出(本庁舎)

21日(月)▽故大森光信氏叙勲伝達式(本庁舎)

22日(火)▽国保事業功労者表彰式、第133回国保団体連合会総会(市町村会館)

24日(木)▽出川禮一氏葬儀参列(虹のホールたかのす)▽第4回北秋田市国民健康保険運営協議会(本庁舎)

25日(金)▽北秋田市議会3月定例会(最終日)(議事堂)

28日(月)▽押尾川親方への看板贈呈式(オンライン)(本庁舎)

1日(火)▽定例部長会議(本庁舎)

3日(木)▽定例記者会見(本庁舎)

4日(金)▽秋田北鷹高校スキー部インターハイ報告会(本庁舎)

6日(日)▽コミュニティ生活圏形成事業(コムコム)

7日(月)▽森吉山ダム水源地域活性化協議会(コムコム)▽合川小学校いぶりがっこ贈呈(本庁舎)

9日(水)▽既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業視察(阿仁・森吉地域)


10日(木)▽米代川圏域流域治水協議会(Web会議)(本庁舎)

15日(火)▽北秋田市行政評価委員会報告(本庁舎)▽地域おこし協力隊委嘱状交付式(本庁舎)

北秋田市
地域おこし
協力隊

きたあきたの
魅力発掘

vol.49




新人隊員です

北秋田市の皆さま、初めまして。地域おこし協力隊の佐藤健太(秋田市出身、51歳)です。

昨年12月に着任して約3か月が過ぎました。森吉山を中心とした観光振興コーディネーターとして、徐々にですが活動をしているところです。

活動の一部をご紹介しますと、今年に入ってから隔週で樹氷案内人の仕事をしていました。日本三大樹氷観賞地の一つである森吉山の樹氷を見に来られた観光客等へのコースのご案内や、スノーシュー(西洋かんじき)装着の手助けをしていました。

今年の樹氷観賞期間中はスッキリ晴れることが少なかったものの、立派な樹氷が3月まで見ることができ、観光客等にも喜ばれました。その他にも、ブナ帯トイシと阿仁避難小屋の雪下ろし、雪山登山時の目印となる




▲寒風に顔が強張りポール立て

遭難防止用のポールの設置等の仕事をしていました。

森吉山に関する情報については、個人開設のフェイスブックにて、少しずつですが情報を提供していきますのでこちらも見てください。

雪がとけてくる4月以降は、森吉山と周辺に出没する予定ですので、見掛けたらお声を掛けていただくと幸いです。

お世話になります。どうぞよろしくお願ひします。



佐藤 健太 隊員

男女

共同参画
第5回

**男女共同参画の視点から
取り組む防災について**



地震、台風、大雨、洪水、土砂災害など、どんな災害が、いつどこで起こるか分かりません。

東日本大震災以降、防災分野への女性の参加の重要性について取り上げられる機会が増えました。

これまで災害発生時の対応は、力仕事が多いことなどから、男性が中心となっていた行われていました。そのため、女性の要望や意見が反映されにくいといった問題があり、東日本大震災では、避難所運営の際に、衛生用品等の不足、女性用トイレや授乳・着替えをするスペースが確保されていないなど、女性が様々な我慢を強いられる場面がありました。「緊急時だから我慢しなければいけない」と考えがちですが、性別で、また、年齢などによっても、ニーズの違いがあり、プライバシーへの配慮も必要になります。

東日本大震災での経験を教訓とし、現在は、様々な方に配慮した防災対策が検討されており、当市でも、災害用の食料品や衛生用品の物資備蓄、安全安心な避難所運営を心掛けるための間仕切りなど

の物品を導入していますが、いつものように起こるかわからない災害には、平時からの備えや防災に対する意識が大切です。

様々な場面を想定し、授乳用品や服着中の薬など、個人や家族のニーズに応じた食料品や生活必需品に関する備えのほか、職場の災害マニュアルや、避難場所の確認をしましょう。そして、地域の防災訓練には、男性だけではなく女性も積極的に参加し、多様な意見を出し合ひましょう。

いざという時に、性別にとらわれず、誰もが協力して支え合えるように、日頃から職場や地域、家庭で話し合って防災力の向上につなげましょう。